

しんぶん赤旗

● 日刊紙 3,497円/月
● 日曜版 823円/月



2016年6月5日 第503号
日本共産党上伊那地区委員会
伊那市狐島 TEL0265-72-2465
日本共産党 辰野町委員会
辰野町宮木2629 TEL41-1388
(標題 矢ヶ崎 禎)



3000人が参加した松本城公園での日本共産党大演説会

「オール上伊那・杉尾ひでや応援団たつの」結成

7月の参議院選挙は、2月19日に5野党党首会談で安保法制廃止や安倍政権の打倒、国政選挙協力などの合意がなされ、市民の「野党は共闘」の強い声、後押しにより、今や全国32の1人区すべてで野党統一候補が実現する情勢が生まれています。

長野県区は2月25日に民進党、社民党、日本共産党の野党3党で候補者一本化の合意、3月7日には民進党、日本共産党、杉尾ひでや氏の3者による4項目の政策協定の調印となり、上伊那でも3野党と市民連合の4者で5項目の合意を経て杉尾ひでや必勝を目指す「オール上伊那・杉尾ひでや応援団」の結成(4月30日)となりました。

辰野町でも5人により応援団結成の呼びかけがされ5月23日「オール上伊那・杉尾ひでや応援団たつの」が結成。政党、労組、団体、個人から「平和と憲法9条を守ることは譲れない」「軍事費でなく震災復興に税金を」「社会保障や教育を切り捨てない政治に」など思いが表明され1人区での杉尾ひでや必勝と6月2日「杉尾ひでやと考える大集会」の取り組みを確認しました。

今後の日程

- 6月1日～14日 辰野町6月定例議会
- 8・9日 一般質問
- 14日 本会議
- 6月2日 杉尾ひでやと考える大集会 県伊那文化会館
- 6月10日 前進座公演 怒る富士 県伊那文化会館
- 6月11日～19日 ほたる祭り
- 6月12日 上伊那母親大会
- 6月18日 日本共産党上伊那演説会 県伊那文化会館

89歳 一老人

「衣食足りて礼節を知る」ということわざには程遠い生活であった。

昭和20年8月終戦時、陸軍伍長の階級で捕虜となりシベリアに抑留された。抑留生活は飢え、厳寒、強制労働の中で友が倒れ、残酷悲惨であったが九死に一生を得て昭和23年7月帰国した。

家での生活は戦前と同じ状態で、おかずは干物や川から捕った魚、飼育中の兎肉で過ごした。

当時私は公務員であったが通勤には引上げ時にもらった軍服、常着は古着にツギハギをして着用、娯楽はラジオで唄を聞き映画見物位であった。

「衣食足りて礼節を知る」ということわざには程遠い生活であった。

昭和20年8月終戦時、陸軍伍長の階級で捕虜となりシベリアに抑留された。抑留生活は飢え、厳寒、強制労働の中で友が倒れ、残酷悲惨であったが九死に一生を得て昭和23年7月帰国した。

家での生活は戦前と同じ状態で、おかずは干物や川から捕った魚、飼育中の兎肉で過ごした。

当時私は公務員であったが通勤には引上げ時にもらった軍服、常着は古着にツギハギをして着用、娯楽はラジオで唄を聞き映画見物位であった。

参議院選勝利大演説会

希望の持てる未来を信州から

5月22日、日本共産党大演説会が行われ辰野からも28名が参加しました。北陸信越東海9県を駆け巡り大奮闘のたけだ良介比例候補は沖縄女性遺棄事件に抗議「沖縄への最大の連帯は安倍政権を倒すこと」と第一声。

唐沢あき比例候補も熊本地震や川内原発にふれ「命と暮らしがかかった選挙、選挙区と比例の躍進に責任を持つ」と表明しました。

「誰の子ども殺さないママの会信州」「野党共闘を応援する勝手連」

毎年恒例の伸陽会主催の「潮干狩り」が、5月8日愛知県蒲郡市竹島海岸で行われ、杉尾ひでや氏も駆けつけ決意表明をされました。

楽しい潮干狩りでした 竹島海岸で27人が参加

メイン弁士の市田忠義副委員長は、新しい国民運動が起き歴史の本流と逆流のぶつかり合いが起きている。野党共闘の実現は世論と運動、道理の力、必ず成功させようと訴えました。

シリーズ 私戦 ⑦ 私の人生の並木道

青少年の時代は軍国主義の国家であり忠国愛国の教育を受けて育った。成人になれば男子は徴兵検査が義務付けられ健康体の人は軍隊へ召集された。生活も第二次戦争が始まってから苦しく物資は配給制となり食べ物は野山の草根を足しにした。私は学生であったが決心して昭和19年志願兵として渡満(中国)、軍隊は輜重隊馬班で軍馬としての生活であったが幹部候補生を志願して将校を夢みた。